

# 会頭 独白

21

## 今こそ「三方よし」の精神に学べ

### 西九州新幹線の暗礁を溶かす新ルート案 与党検討委などへ期成会PR活動

#### 固い暗礁を砕く方策

理想形を表した言葉であり、現代のビジネスにも通じ多くの人々を魅了する考え方です。

今、暗礁に乗り上げている新幹線西九州ルート問題を考えるにつけ、頭に浮かんでくるのはこの「三方よし」の精神で暗礁を何とか砕けないものか、との思いです。

今年3月、筑後地区の7商工会議所は西九州新幹線福岡県南乗り入れ誘致期成会を立ち上げました。佐賀県、長崎県、JR九州の三者の意思の違ひから「1ミリも動かない」西九州新幹線武雄温泉―新鳥栖間問題を再考し、新たな視点から佐賀空港や有明海沿岸道路と連携する「南回りルート」を検討すべき、と誘致運動を始めました。

#### 南回りルート気運醸成活動

スタートして半年になります。この間、余りマスコミには取り上げられませんが、活動は粛々と進んでいます。与党整備新幹線建設推進PT

#### 西九州新幹線福岡県南乗り入れ誘致期成会 会員名簿

期成会役職名	商工会議所名	役職	氏名(敬称略)
会長	久留米商工会議所	会頭	本村 康人
副会長	大牟田商工会議所	会頭	板床 定男
副会長	筑後商工会議所	会頭	玉木 康裕
理事	柳川商工会議所	会頭	萩島 清
理事	朝倉商工会議所	会頭	大隈 清明
理事	八女商工会議所	会頭	諸富 一文
監事	大川商工会議所	会頭	津村洋一郎

の森山裕委員長、藤丸敏衆議院議員、松山政司参議院議員や地元選出の鳩山二郎衆議院議員たちと東京でお会いし、直接期成会の活動趣旨について説明を行いました。

期成会の趣意書には「新たな南回りルート案は佐賀・福岡両空港との連携、有明海沿岸道路を通じた有明海の港湾施設の利用促進、佐賀と福岡両県境をまたぐ地域振興など、将来の開業効果は西九州新幹線沿線にとどまらず、九州全体にとってもベスタなルート」であるとうたっていきます。

南回りルートが早期に完成、開通すれば長崎県は念願のフル規格による東京駅直結が実現する。佐賀県は新幹線と結んだ空港周辺の開発、さらに主張している佐賀駅を通る在来線存続が一挙両得で実現できる。JR九州も西九州新幹線の全線開通による観光客誘致などで潤う仕掛けが描ける。これが私の考える「三方よし」です。ここに県南の振興策が加

#### 「西九州新幹線福岡県南乗り入れ誘致期成会」設立趣意書

九州新幹線から分岐する西九州新幹線の武雄温泉駅までの「未整備区間」を巡る整備方式が未解決のまま西九州新幹線の全線開通の見通しが立たない現状が続いています。暗礁に乗り上げたまま西九州新幹線の開通遅れが続く事態は、西九州のみならず北部九州、九州全体の発展、経済効果にとっても大きなマイナスだと受け止めざるを得ません。

九州地域は現在、半導体世界大手「TSMC」の熊本県への工場展開を契機に、国内外の関連産業の進出が活発化しています。100年に一度とも言われる大プロジェクトがもたらす九州内での経済効果は、域内総生産が現在の50兆円から2035年には75兆円へ拡大する可能性を秘めているとの試算が示されています。

この好機を前に、佐賀県と隣接している福岡県南の商工会議所としても西九州新幹線が未整備区間の課題を解決できずに足踏み状況に陥っているのを産院していることはできません。定時性、大量輸送性に優れた新幹線は、企業立地や国内外の観光誘客に大きなインパクトを与える交通インフラです。早期の全線開通は九州域内に希望をもたらすとともに、切なる期待となっています。

先行きが見えない中の西九州新幹線完全整備に向け、佐賀・福岡両県の経済界の一部から福岡県南の九州新幹線から分岐する新たな南回りルート案が提起されました。南回りルート案が実現した場合、佐賀・福岡両空港との連携、有明海沿岸道路を通じた有明海の港湾施設の利用促進、佐賀県と福岡県南の県境をまたぐ地域振興など、将来の開業効果は西九州新幹線沿線にとどまらず、九州全体にとってもベスタなルートであると考えます。

ついでに、県南の商工会議所は一致団結し、佐賀空港を経由した新たな福岡県南、南回りルートの整備を唯一の解決策として国を中心とする新幹線協議の場に採用されることを強く要望いたします。そのためには、実現に向け国、自治体、関係団体等に強力に働きかけていくことが重要と考えます。以上の趣旨に基づき、ここに西九州新幹線福岡県南乗り入れ誘致期成会を設立いたします。

令和6年3月13日

#### 新ルート検討調査費の 予算化へ

われは「四方よし」になるわけです。

期成会はこの夏から本格的に誘致行動をスタートしました。各方面への説明の反応は必ずしも上々とはいきませんが、徐々に理解が広がっていきつつあります。与党検討委員会の森山裕委員長は会見で「西九州新幹線は九州全体の振興という面からも検討しなければならぬ」と発言し、我々の主張している考えに似ている言葉が出て、注目されました。

その一方、JR九州の古宮洋二社長は7月の与党検討委員会、新鳥栖―武雄温泉が全線フル規格で開業した場合でも並行在来線特急は一定数必要との認識を表明するなど、佐賀県への配慮も示し始めたを受け止められています。いわば佐賀、JR九州が与党検討委員会の場で、綱引きを演じ始めた、

最終的には西九州新幹線の総合的な立場から国が政治的判断を迫られると思えますが、県南振興の今後の百年の大計から南回りルートの実現を推し進めたいと強い決意を固めております。今回のコラムでは、西九州新幹線問題の解決を、県南地域の商工会議所の立場から目指す期成会の活動の一端を紹介しました。会員の皆さんにはこの新幹線問題に強い関心を持っていただき、期成会活動の後押しをお願いする次第です。